

研究機関名：社会福祉法人三井記念病院

受検者さん、患者さんへ

社会福祉法人三井記念病院では以下の研究を実施しています。

研究の対象となる受検者さん、患者さんで、人間ドック・健診情報及び診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、末尾のお問合わせ先にご連絡ください。

【研究課題名】

受診者の未来を支えるための新たな予防医学の構築へ向けたアプローチ

(審査番号 MEC2023 申請番号：C93)

1. この研究の対象者

1994 年以後に三井記念病院総合健診センターで人間ドック健診及び診療を受けられた方（随時更新）及び 2016 年以後に三井記念病院総合健診センター受診者追跡調査の対象となった方（随時更新）

2. 研究に用いる情報の種類

通常の間ドック健診及び診療で得られた以下の情報を収集します。データ項目は身長、体重、腹囲径、体脂肪率、問診票（生活習慣等）、保健指導履歴、食塩摂取量、採血（一般、生化学、内分泌ホルモン値、腫瘍マーカー、動脈硬化指数等）、尿検査、空腹時インスリン値、75g ブドウ糖負荷試験時の血糖・インスリン値の変動、腫瘍マーカー、超音波検査（上下腹部、乳腺、頸部等）、上部消化管造影検査、上下部内視鏡検査、マンモグラフィー、胸部レントゲン写真、頭・胸腹部骨盤 CT 検査、頭部 MRI・MRA 検査、認知機能検査、VSRAD、骨密度、婦人科診察、眼底検査、握力、ロコモ・サルコペニアチェックの結果（ロコモ度、立ち上がり試験、指輪っかテスト等）、アミノインデックス等のドック健診で得られた情報及び健康管理科の予約面接・診療業務で得られた情報。

3. 研究目的・方法

2022 年に WHO(World Health Organization's)から公表された世界平均寿命ランキングにおいて日本は第 1 位でした（World health statistics 2022: monitoring health for the SDGs, sustainable development goals; WHO）。世界に先駆けて寿命が延びたことによって、本邦では遂に 2020 年に超・超高齢社会が到来し、健康寿命の延伸が喫緊の課題のひとつとなっています。具体的には国内の主要な死亡原因である悪性腫瘍や循環器疾患、及び患者数が増加傾向にあり且つ重大な合併症を引き起こす危険をもつ糖尿病

や、死亡原因として急増すると予測される慢性閉塞性肺疾患（COPD）への対策が望まれており（平成 26 年 厚生労働省白書）いずれの場合にも疾病に罹患前の健康管理や先制医療あるいは疾病の早期発見や早期介入が期待されています。健康寿命を延伸させるためには疾病になる前の状況から危険因子を取り除くあるいは危険因子を管理する意識が望まれます。そこで本研究では疾病罹患後だけでなく特に、疾病に罹患する前の健康状態に着目して疾病の早期発見、早期介入に関連する新たな因子を検討します。

4. その他

情報が本研究で用いられることについて、受検者さん、患者さんもしくは受検者さん、患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも受検者さん、患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、すでに研究結果が学会発表や論文などに公表されていた場合には、本研究への参加の拒否に従った措置を講ずることができませんのでご了承ください。

【連絡・お問い合わせ先】

研究責任者：社会福祉法人三井記念病院

総合健診センター 山崎 聡

連絡担当者：山崎 聡

住所 〒101-8643 東京都千代田区神田和泉町 1 番地

住友商事神田和泉町ビル 2F

TEL: 03-5687-6331

研究機関名：社会福祉法人三井記念病院